日本航空株式会社
2025年3月期 第2四半期
決算説明会

JAPAN AIRLINES

大谷翔平選手をデザインした特別塗装機「DREAM SHO JET」 が9月29日（日）より就航

2024年11月1日

代表取締役社長執行役員グループCEO　鳥取三津子

代表取締役副社長執行役員グループCFO　斎藤祐二

APEX WORLD CLASS 2024

APEX
WORLD CLASS

Best Wi-Fi in Eastern Asia 2024APEX"

SKYTRAX
2024年度
World's Best
Premium Economy Class

SKYTRAX
World Airline Star
Rating
5-Star

SX銘柄2024

DX銘柄2024
Digital Transformation

2024
健康経営銘柄
Health and Productivity

work with Pride
Gold 2023

2024
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

SPORTS YELL COMPANY 2024

1. 2025年3月期 第2四半期 業績概要

2. 2025年3月期 第2四半期 業績詳細

3. 参考資料

ESG社外評価

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ※
女性活躍指数 (WIN)

当社によるMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名称の使用は、MSCI又はその関係会社による当社の後援、宣伝、販売促進を目的としていません。MSCIのサービスおよびデータはMSCIの独占的財産で、MSCI及びMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCI又はその関係会社の商標又はサービスマークです。

FTSE Blossom Japan Index ※

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

Member of
Dow Jones Sustainability Indices
Powered by the S&P Global CSA

Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index2年連続選定

CDP ※
DISCLOSURE INSIGHT ACTION

気候変動「A-」評価
(2023年度)

2024 ESG FINANCE AWARDS JAPAN SUSTAINABLE

D&I AWARD BEST WORKPLACE for diversity & inclusion 2023

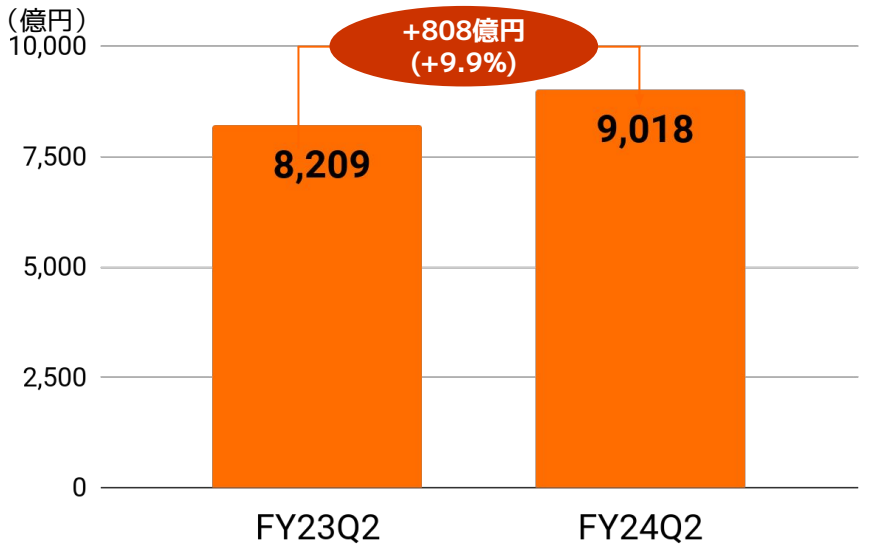
注.(1) 当資料における表中の値は、金額は億円未満を切り捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(2) Q2(7月-9月)の実績はQ2累計実績(4月-9月)からQ1実績(4月-6月)を差し引いて算出しております。
(3) LCC=Low Cost Carrier　(4) ※= 役員報酬算定にESG銘柄選定評価を導入しており、対象とする銘柄のうち当社が選定されているもの

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

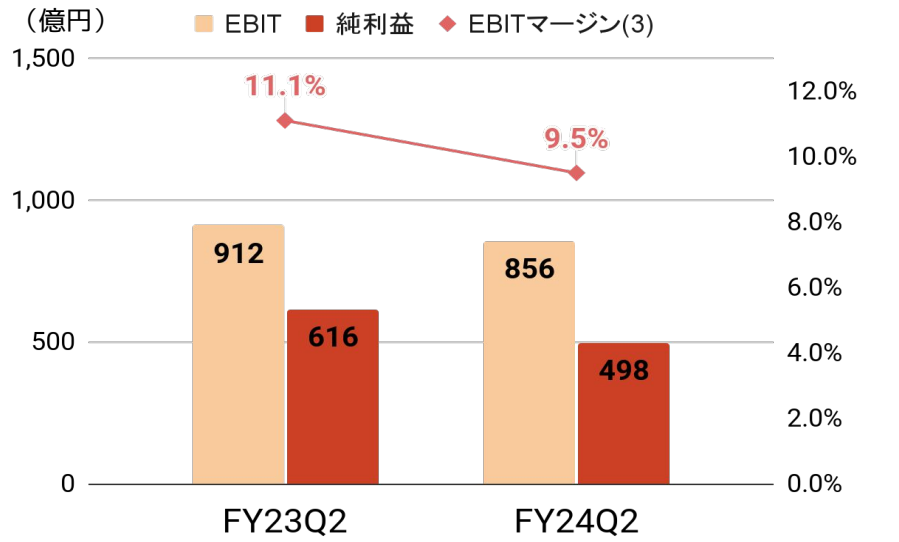
2025年3月期 第2四半期　連結業績概要

- ✔ 好調なインバウンドや日本発業務需要の回復による国際旅客収入を中心に、対前年で増収
- ✔ 事業構造改革の進展による非航空事業の増益等によりQ2単独では対前年で増益
- ✔ 通期の連結業績予想および配当金予想額の変更は無く、中間配当は1株当たり40円で決定

売上収益



EBIT (1)/純利益 (2)



燃油・為替市況実績

	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比
シンガポール・ケロシン (USD/bbl)	98.2	98.0	▲0.2%
ドバイ原油 (USD/bbl)	79.8	83.6	+4.8%
為替 (円/USD)	138.7	154.0	+11.0%

運航諸元/ASK

	FY24Q2（前年同期比）		
	国際線	国内線	合計
フルサービスキャリア	+4.2%	+0.1%	+2.4%
LCC	+35.4%	▲14.1%	+32.0%
合計	+8.7%	▲0.2%	+5.2%

(1) EBIT=財務・法人所得税前利益（税引前利益から利息等の財務収支を除いたもの）(2) 純利益=親会社の所有者に帰属する四半期利益　(3) EBITマージン=EBIT/売上収益

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

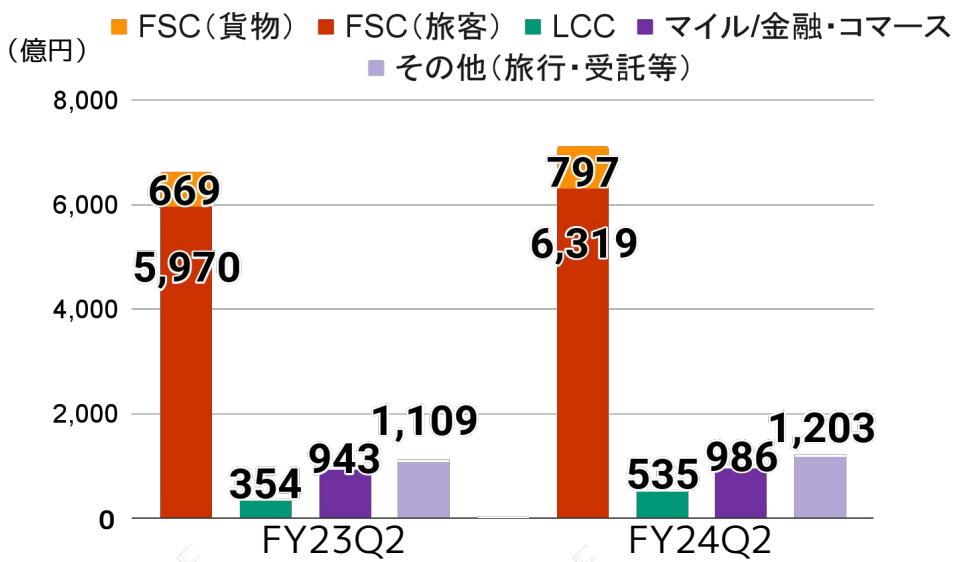
- 2025年3月期第2四半期累計の売上収益は、好調なインバウンド需要や日本発業務需要といった、国際旅客収入を中心に前年より808億円増加し、9,018億円となりました。
- EBITにつきましては、前年より55億円下回る856億円となりました。また、同じく純利益に関しましては前年より117億円下回る498億円となりました。
- 第1四半期に引き続き事業構造改革が進展しており、第2四半期単独で見ますと非航空事業の増益などにより、前年から増収・増益となっております。
- また、当第2四半期の売上収益につきましては累計、単独ともに第1四半期に引き続き、破綻後最高額となっております。
- 2025年3月期通期の連結業績予想および配当予想額に変更はなく、中間配当は40円とさせていただいております。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

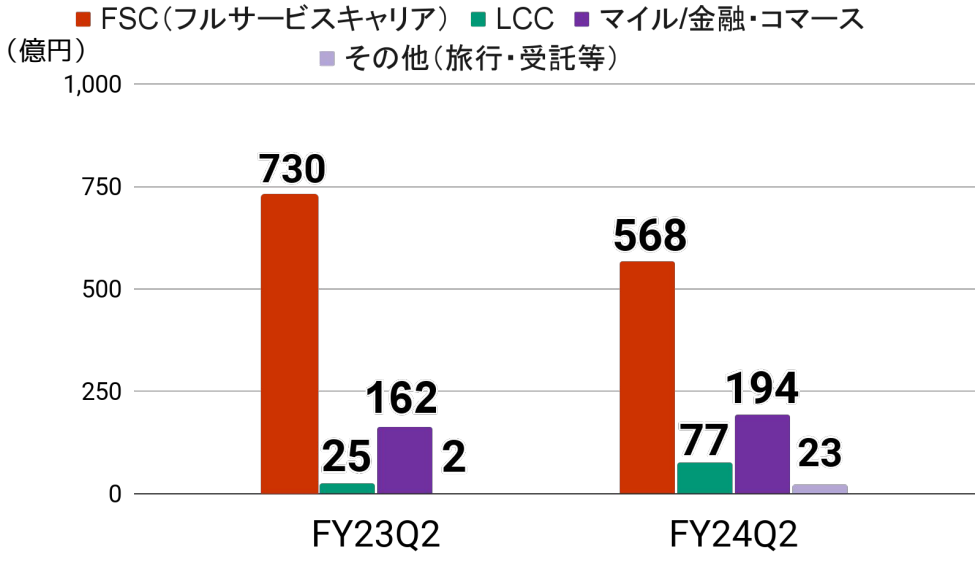
2025年3月期 第2四半期　セグメント別実績

- ✔ FSCは国際旅客・貨物がけん引し、対前年で売上収益が伸長
- ✔ LCCはZIPAIRが引き続き好調、SPRING JAPANも中国需要の回復により黒字化を達成し、EBITが伸長
- ✔ マイル/金融・コマースはコマース事業がけん引して対前年でEBITが伸長
- ✔ その他はQ2に一時的な評価損が発生するも、受託事業がけん引して実質的には対前年で増益

セグメント別　売上収益



セグメント別　EBIT



（単位：億円）FY24Q2単独	FSC（フルサービスキャリア）		LCC	マイル/金融・コマース	その他（旅行・受託等）
売上収益	3,361（旅客）	409（貨物）	288	525	656
前年同期差	＋127	＋83	＋83	＋21	＋58
EBIT	489		55	105	▲14
前年同期差	＋4		＋15	＋33	▲16

注. セグメント別実績における売上収益およびEBITはセグメント間連結消去前数値です。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

- こちらのページでは、セグメント別の実績につきましてご説明します。

- 第2四半期累計のフルサービスキャリア事業のEBITは国際旅客や貨物がけん引し、568億円となりました。
- LCC事業につきましては、好調なZIPAIRに加え、Spring Japanも黒字化を達成し、77億円のEBITを計上しております。
- マイル/金融・コマース事業につきましてもコマース事業が牽引することで、194億円のEBITを計上しております。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

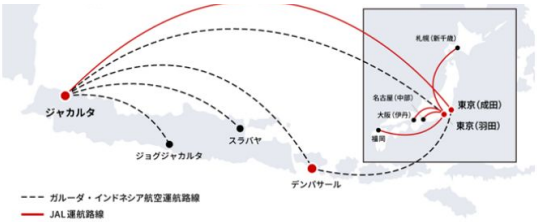
直近の当社の取り組み

フルサービスキャリア

国際線の競争力強化に向けた主な取り組み

■10月24日より、米州に続き欧州線にも最新鋭機材・エアバスA350-1000就航
羽田=ロンドン線（JL043/044）

■2025年4月より、ガルーダ・インドネシア航空との共同事業を開始予定



■10月1日より、無料Wifiサービスを開始
ビジネス/ファーストクラスは時間無制限、エコノミー/プレミアムエコノミークラスは1時間まで利用無料

SAFの取り組み

■法人へのオフセット手段「JAL Corporate SAF Program」
法人のお客さまのScope3削減に貢献

貨物郵便

貨物専用機事業拡大成長に向けた取り組み

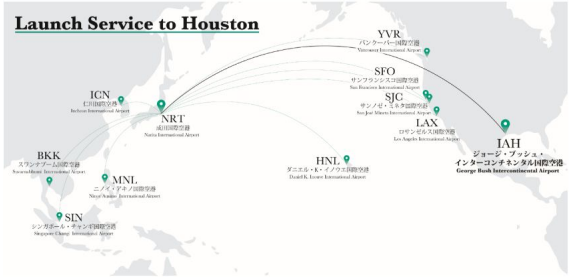
■国際貨物
767貨物便の大連線増便を決定
（10月27日より週2便体制）

■国内貨物
A321貨物便が8月1日より羽田へ就航
深夜～早朝にかけて高速鮮度輸送を実現

LCC

拡大成長に向けた主な取り組み

■ZIPAIR
3月4日よりヒューストンに就航。就航地点は10地点まで増加



■SPRING JAPAN
上海（浦東）・北京・大連等大都市へ就航

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

- こちらのページでは当社の直近の取り組みを紹介しております。

- 10月24日より欧州線にも最新鋭機材であるエアバスA350-1000型機が就航いたしました。ロンドン線より順次拡大させていきたいと考えております。

- また、ZIPAIRが3月4日よりヒューストンに就航することを発表しております。
ZIPAIRにとって初の米国南部への就航となります。ぜひご期待いただければと思います。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

1. 2025年3月期 第2四半期 業績概要

2. 2025年3月期 第2四半期 業績詳細

3. 参考資料

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

INTENTIONALLY LEFT BLANK

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第2四半期　連結業績詳細

科目別連結経営成績

（単位：億円）	累計				単独		
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期差	前年同期比	FY24Q2	FY23Q2	
						同期差	同期比
売上収益	8,209	9,018	+808	+9.9%	4,777	+382	+8.7%
フルサービスキャリア	6,656	7,101	+445	+6.7%	3,764	+189	+5.3%
国際旅客収入	3,144	3,405	+260	+8.3%	1,745	+76	+4.6%
国内旅客収入	2,750	2,804	+53	+2.0%	1,557	+26	+1.7%
貨物郵便収入	669	797	+128	+19.2%	409	+83	+25.6%
その他収入	92	95	+2	+3.2%	52	+3	+7.8%
LCC旅客収入	316	453	+137	+43.4%	243	+60	+33.3%
マイル/金融・コマース、その他（旅行・受託等）等 (1)	1,236	1,462	+226	+18.3%	769	+132	+20.7%
営業費用	7,366	8,243	+876	+11.9%	4,181	+345	+9.0%
燃油費	1,700	1,923	+223	+13.1%	978	+72	+8.0%
燃油費以外	5,666	6,319	+652	+11.5%	3,202	+272	+9.3%
その他収支 (2)	69	81	+12	+17.2%	39	▲0	▲0.7%
EBIT	912	856	▲55	▲6.1%	635	+37	+6.2%
EBITマージン(%)	11.1%	9.5%	▲1.6pt	-	13.3%	▲0.3pt	-
純利益	616	498	▲117	▲19.1%	358	▲27	▲7.0%
RPK(百万人キロ)	35,510	38,144	+2,634	+7.4%	19,991	+1,435	+7.7%
ASK(百万席キロ)	45,698	48,087	+2,388	+5.2%	24,441	+1,145	+4.9%
EBITDAマージン(%) (3)	20.1%	18.0%	▲2.0pt	-	21.4%	▲0.5pt	-

連結業績詳細は、全社連結科目別に表したものであり、報告セグメント別の売上収益ではありません。
(1) マイル/金融・コマース、その他（旅行・受託等）等=マイル提携・コマース・旅行・受託事業収入等　(2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支
(3) EBITDAマージン=EBITDA/売上収益　EBITDA=EBIT+減価償却費

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

- 以降のページでは、2025年度3月期第2四半期の詳細について説明いたします。
- 7ページでは連結経営成績の数字をお示ししております。

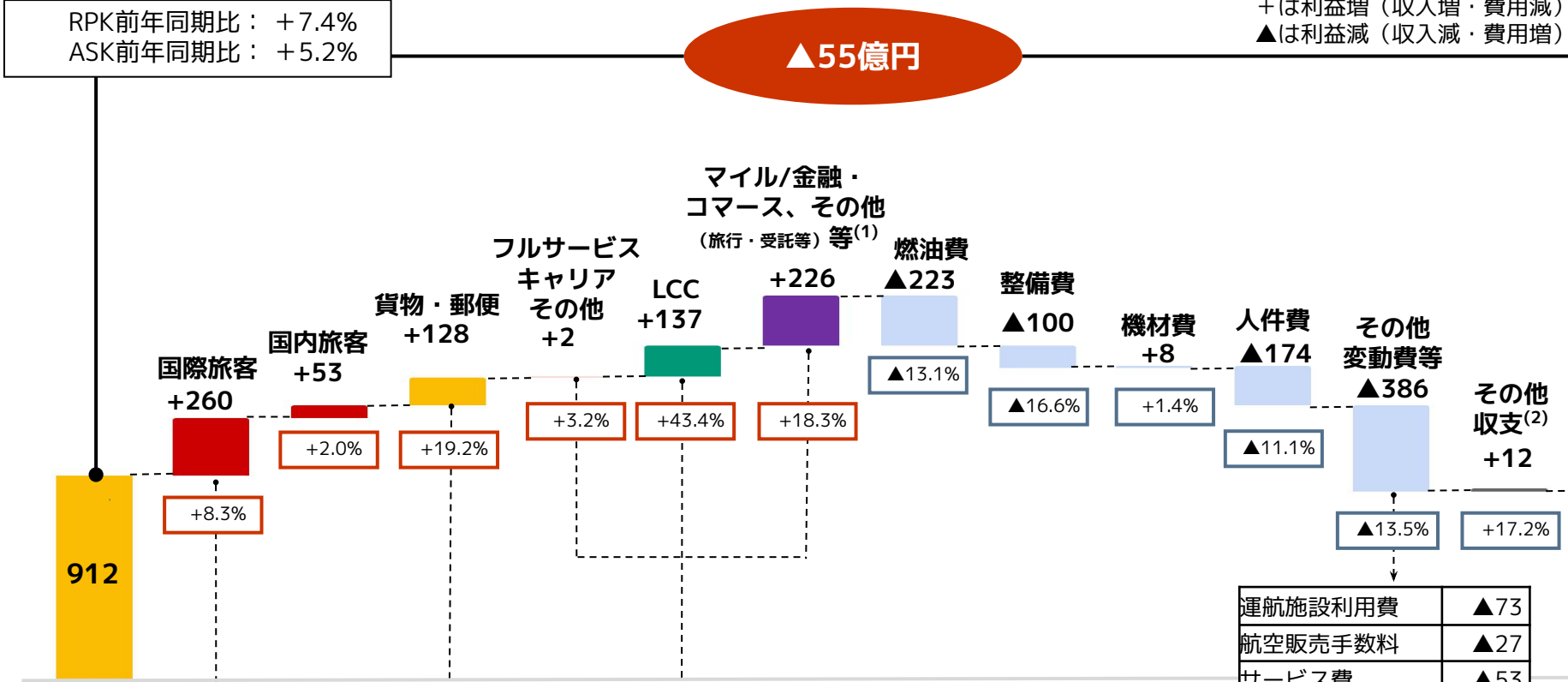
©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第2四半期　連結業績詳細
EBIT増減の科目別推移（収入／費用）

RPK前年同期比：＋7.4%
ASK前年同期比：＋5.2%

＋は利益増（収入増・費用減）
▲は利益減（収入減・費用増）を意味する

（億円）



運航施設利用費	▲73
航空販売手数料	▲27
サービス費	▲53
旅行原価	+14
コマース・受託事業原価等	▲78
上記以外	▲168
合計	▲386

FSC(3)・為替

FSC	+37	FSC	+21	FSC	-	FSC合計	+58
為替	+133	為替	+34	為替	+29	為替合計	+198
(合計)	+171	(合計)	+56	(合計)	+29	(総合計)	+257

収入 +808億円 (+9.9%)

費用 ▲876億円 (▲11.9%)

(1) マイル/金融・コマース、その他（旅行・受託等）等=マイル提携・コマース・旅行・受託事業収入等
(2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支　(3) FSC=Fuel Surcharge

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

- こちらのページでは、前年からのEBITの差の要因を売上収益と費用にわけてお示ししております。

- 収入につきましては、国際旅客や貨物郵便、LCC、マイル/金融・コマース、その他など、各事業セグメントにおいて収入が伸びた結果、前年より808億円の増収となりました。
- 費用につきましては、市況の影響で燃油費や整備費といった項目が増加しております。
  また、人的投資として、人件費につきましても前年度から増加させております。
  加えて、旅客数および供給増に伴って、運航規模や旅客数に連動する費用やその他各種費用の増加がみられており、費用としては前年より876億円増加しました。
- 以上の結果、EBITは前年より55億円の減少となっております。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第2四半期　連結業績詳細
EBIT増減の推移（市況／その他）

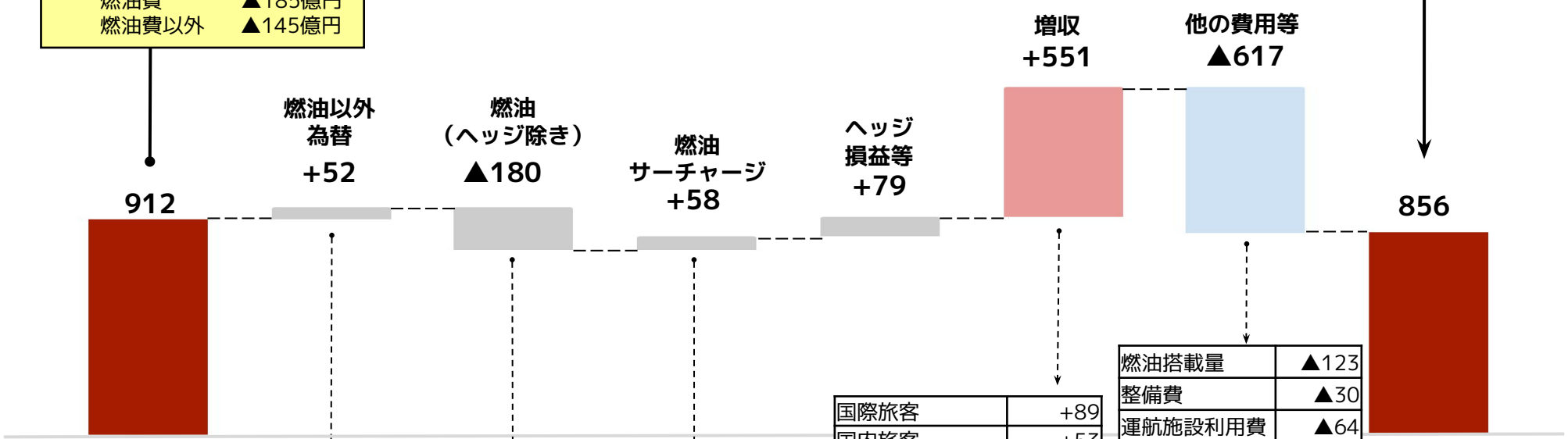
（億円）

＋は利益増（収入増・費用減）
▲は利益減（収入減・費用増）を意味する

うち為替影響	▲132億円
収入	+198億円
費用	▲331億円
燃油費	▲185億円
燃油費以外	▲145億円

▲55億円

（市況要素を除く影響額）



収入	+198
燃油以外費用	▲145
合計	+52

為替	▲185
燃油市況	+5
合計	▲180

国際旅客	+37
国際貨物	+21
合計	+58

国際旅客	+89
国内旅客	+53
貨物郵便	+72
フルサービスキャリアその他	+2
LCC	+113
マイル/金融・コマース、その他（旅行・受託等）等	+220
合計	+551

燃油搭載量	▲123
整備費	▲30
運航施設利用費	▲64
サービス費	▲40
旅行原価	+14
コマース・受託事業原価等	▲77
機材費	+10
人件費	▲163
上記以外	▲143
計	▲617

市況影響　+10億円

その他　▲66億円

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

- こちらのページでは、前年からのEBITの差の要因を市況影響とその他の要因に分けてお示ししております。

- 市況につきましては、燃油市況が前年からほぼ同水準であったところ、為替市況につきましては昨年の138.7円から154.0円へと大幅な円安となりました。為替の影響だけで132億円、利益を押し下げる効果がありました。
- しかしながら、燃油サーチャージやヘッジ等で打ち返しており、市況の影響としては前年より10億円のEBIT押し上げ要因となっております。
- また、市況影響を除きますと、各種費用の増加や台風など一時的な要因により66億円のEBIT押し下げ要因となり、結果として前年度から55億円のEBIT減少となっております。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第2四半期　連結業績詳細
国際旅客（フルサービスキャリア）

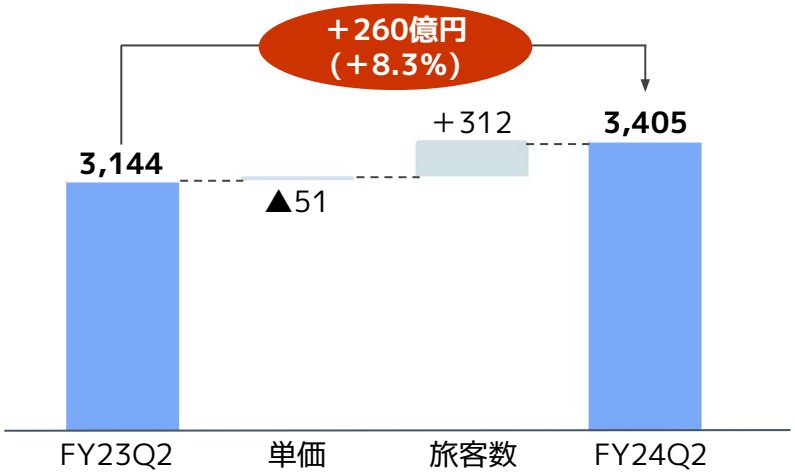
- ✔ 上期は回復傾向にある日本発需要と旺盛なインバウンド需要を取り込み、旅客数が伸長
- ✔ 下期は回復する高単価の日本発業務需要や東南アジアを中心に更なるインバウンド需要を取り込む

国際旅客事業の状況

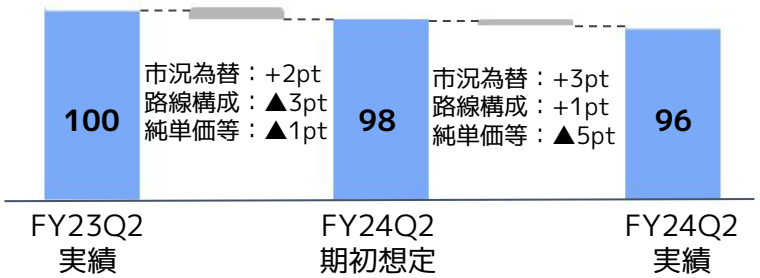
国際旅客事業	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	FY24Q2	前年同期比
旅客収入（億円）	3,144	3,405	+8.3%	1,745	+4.6%
有償旅客数（千人）	3,294	3,621	+9.9%	1,870	+8.6%
RPK（百万人キロ）	18,817	20,282	+7.8%	10,419	+6.3%
ASK（百万席キロ）	23,738	24,729	+4.2%	12,513	+4.5%
有償座席利用率（%）	79.3%	82.0%	+2.7pt	83.3%	+1.4pt
単価（円）(1)	95,443	94,030	▲1.5%	93,300	▲3.7%
イールド（円）(2)	16.7	16.8	+0.5%	16.8	▲1.6%
ユニットレベニュー（円）(3)	13.2	13.8	+4.0%	13.9	+0.1%

(1)単価＝旅客収入/有償旅客数
(2)イールド＝旅客収入/RPK
(3)ユニットレベニュー＝旅客収入/ASK

国際旅客収入の推移（億円）



Q2単独実績単価変動
（FY23Q2実績＝100）



©Japan Airlines, ALL rights reserved.

- このページではフルサービスキャリア国際旅客の実績をお示ししております。

- 国際旅客については、回復がみられる日本発需要や、引き続き旺盛なインバウンド需要を取り込んだ結果、旅客数は前年から9,9%増加しました。一方、イールドにつきましても前年から0.5%伸ばすことができ、高い水準を維持しております。結果、国際旅客収入は前年より8.3%増加の3,405億円となりました。
- 今後も日本発業務需要や東南アジア発のインバウンド需要といった旺盛な需要を取り込みながら、収入を伸ばしていきたいと考えております。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第2四半期　連結業績詳細
国内旅客（フルサービスキャリア）

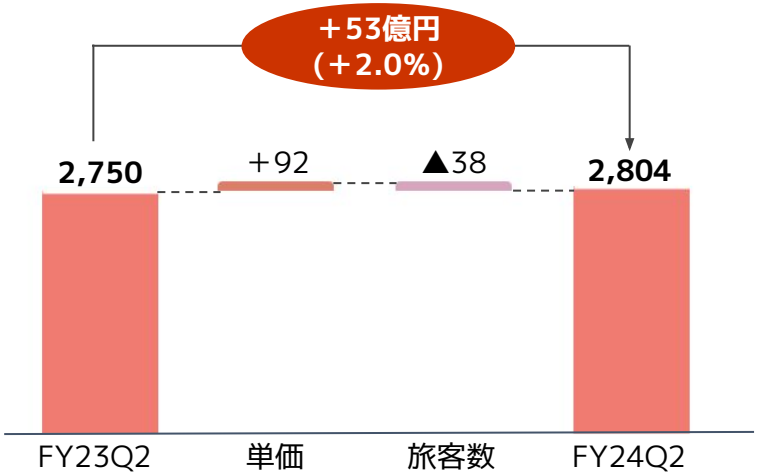
- ✔ 上期は低需要便を中心とした需要喚起策により、団体旅客需要は回復傾向
- ✔ 下期は需要喚起施策により第2四半期の傾向が継続し、旅客数が戻る見込み

国内旅客事業の状況

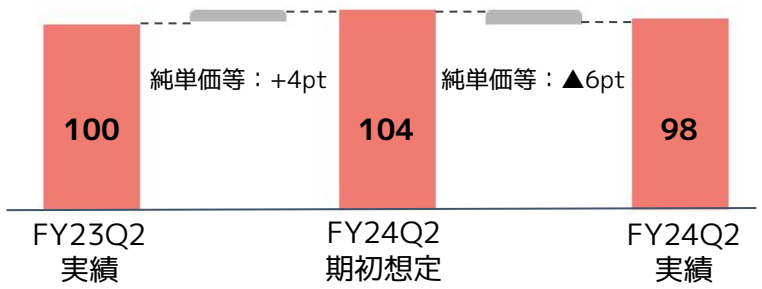
国内旅客事業	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	FY24Q2	前年同期比
旅客収入（億円）	2,750	2,804	+2.0%	1,557	+1.7%
有償旅客数（千人）	17,526	17,286	▲1.4%	9,267	+3.7%
RPK（百万人キロ）	13,302	13,221	▲0.6%	7,157	+4.8%
ASK（百万席キロ）	17,640	17,654	+0.1%	8,965	+0.4%
有償座席利用率（%）	75.4%	74.9%	▲0.5pt	79.8%	+3.3pt
単価（円）(1)	15,696	16,224	+3.4%	16,803	▲1.9%
イールド（円）(2)	20.7	21.2	+2.6%	21.8	▲2.9%
ユニットレベニュー（円）(3)	15.6	15.9	+1.9%	17.4	+1.3%

(1) 単価=旅客収入/有償旅客数
(2) イールド=旅客収入/RPK
(3) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

国内旅客収入の推移（億円）



Q2単独実績単価変動
（FY23Q2実績＝100）



©Japan Airlines, ALL rights reserved.

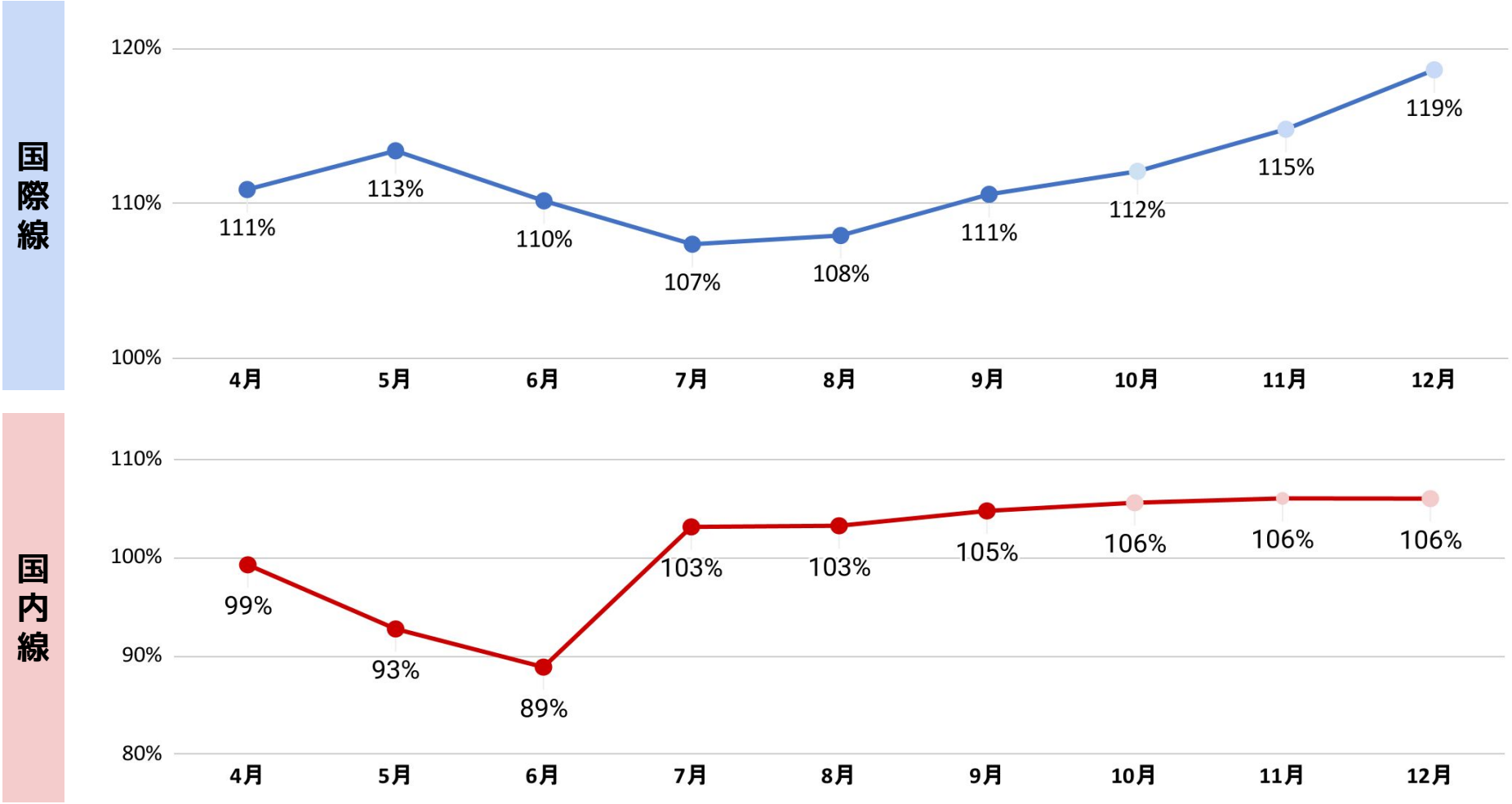
- このページではフルサービスキャリア国内旅客の実績をお示ししております。

- 国内旅客については、需要喚起策により団体旅客需要について回復傾向がみられました。結果として旅客数としては大変好調であった前年から1.4%の減少にとどめました。
- 一方、イールドにつきましては前年から2.6%の向上となり、結果として、国内旅客収入は前年より2.0%増加の2,804億円となりました。
- 下期につきましても様々な需要喚起策を継続することでお客さまのご利用を増やしていくとともに、単価につきましても維持向上を図ってまいりたいと考えております。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第2四半期実績および第3四半期見通し
国際・国内旅客（フルサービスキャリア）の需要動向

旅客数（FY2023比）



©Japan Airlines, ALL rights reserved.

- このページでは国際線、国内線の旅客数の実績及び見通しについて前年との比較をお示ししております。

- 国際旅客の上半期は110%前後で推移しました。
  10月以降につきましては、昨年と比較しまして110%から119%という水準での伸びを見込んでおります。
- 国内旅客につきましては第一四半期では前年より旅客数が減少いたしましたが、7月以降前年を超える水準で推移しております。
  10月以降につきましては、昨年と比較して106%という水準を見込んでおり、堅調に推移するものと見込んでおります。
- 国際旅客、国内旅客共に今後の旅客数の見通しは堅調であり、手応えを感じております。利益目標、EBIT1,700億円の達成に向けて増収に努めてまいります。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第2四半期　連結業績詳細
貨物

- ✔ 国際貨物は、自社貨物機の活用、需要旺盛な北米向けの単価向上や医薬品等の高付加価値貨物の獲得強化により増収。下期も日発欧米向けの単価向上・アジア発の物量増により増収をめざす
- ✔ 国内貨物は、ヤマトホールディングスとの貨物機が8月から羽田に就航（1日13便体制へ）下期もトラックからの転移需要等、需要動向の変化に注視し、物量獲得をめざす

国際貨物事業	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	FY24Q2	前年同期比
貨物収入（億円）	506	605	+19.5%	311	+28.6 %
有効貨物トンキロ（百万）	2,118	2,633	+24.3%	1,336	+25.3 %
有償貨物トンキロ（百万）	1,271	1,381	+8.7%	693	+8.5 %
貨物輸送重量（千トン）	212	255	+20.0%	128	+20.3 %
重量単価（円/kg）	238	237	▲0.4%	242	+6.9 %

国内貨物事業	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	FY24Q2	前年同期比
貨物収入（億円）	97	135	+38.1%	69	+43.2 %
有効貨物トンキロ（百万）	810	842	+4.0%	432	+5.3 %
有償貨物トンキロ（百万）	140	147	+5.3%	79	+12.2 %
貨物輸送重量（千トン）	148	157	+6.4%	85	+13.4 %
重量単価（円/kg）	66	86	+29.9%	82	+26.3 %

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

- こちらのページでは、貨物事業の業績をお示ししております。

- 国際貨物は、需要が旺盛な中国やアジアからの北米向け貨物を中心に単価の向上を図るとともに、医薬品などの高付加価値貨物獲得に注力することで、輸送重量、貨物収入ともに前年より伸ばすことができました。
- また、ヤマトホールディングス様との協業によるA321貨物機が8月から羽田に就航したことなどにより、国内貨物収入についても増収となっております。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第2四半期　連結業績詳細
LCC

- ✔ ZIPAIRは引き続き好調
- ✔ SPRING JAPANは8月以降、需要の大きい北京・上海（浦東）への就航により通期で黒字化を見込む

ZIPAIR	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	FY24Q2	前年同期比
旅客収入（億円）	249	351	+40.6%	178	+33.2%
有償旅客数（千人）	541	680	+25.6%	348	+17.3%
RPK（百万人キロ）	2,990	3,922	+31.2%	2,020	+22.3%
ASK（百万席キロ）	3,765	4,822	+28.1%	2,479	+21.1%
有償座席利用率（%）	79.4%	81.3%	+1.9pt	81.5%	+0.8pt
単価（円）(1)	46,105	51,598	+11.9%	51,231	+13.6%
イールド（円）(2)	8.4	9.0	+7.2%	8.8	+8.9%
ユニットレベニュー（円）(3)	6.6	7.3	+9.8%	7.2	+9.9%

SPRING JAPAN	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	FY24Q2	前年同期比
旅客収入（億円）	66	101	+53.9%	64	+33.5%
有償旅客数（千人）	390	537	+37.6%	278	+14.2%
RPK（百万人キロ）	400	717	+79.4%	394	+47.1%
ASK（百万席キロ）	553	880	+59.0%	482	+38.8%
有償座席利用率（%）	72.2%	81.5%	+9.3pt	81.8%	+4.7pt
単価（円）(1)	16,965	18,969	+11.8%	23,331	+17.0%
イールド（円）(2)	16.6	14.2	▲14.2%	16.4	▲9.3%
ユニットレベニュー（円）(3)	12.0	11.6	▲3.2%	13.5	▲3.8%

(1)単価=旅客収入/有償旅客数　(2)イールド=旅客収入/RPK　(3)ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

- このページでは、LCCの実績をお示ししております。

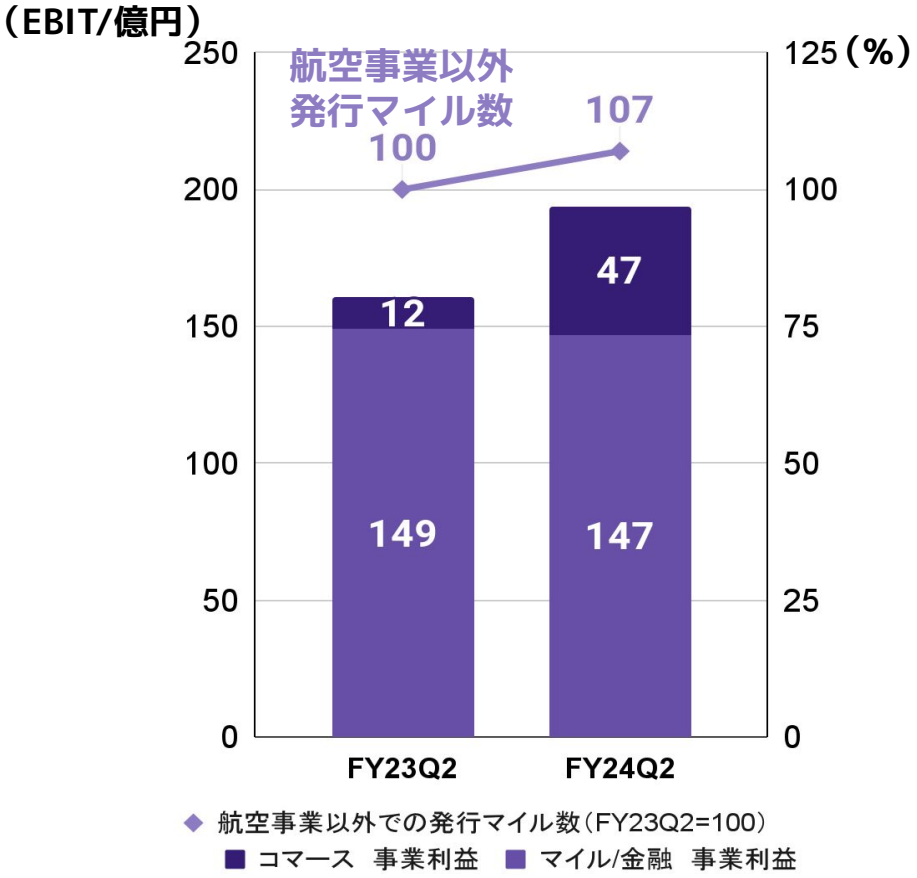
- ZIPAIRは、第1四半期に引き続き、前年度より旅客数、収入ともに大きく伸ばしており、順調に成長を続けております。
- また、スプリングジャパンにつきましても、需要の大きい北京や上海へ8月から就航しており、通期での黒字を見込んでおります。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

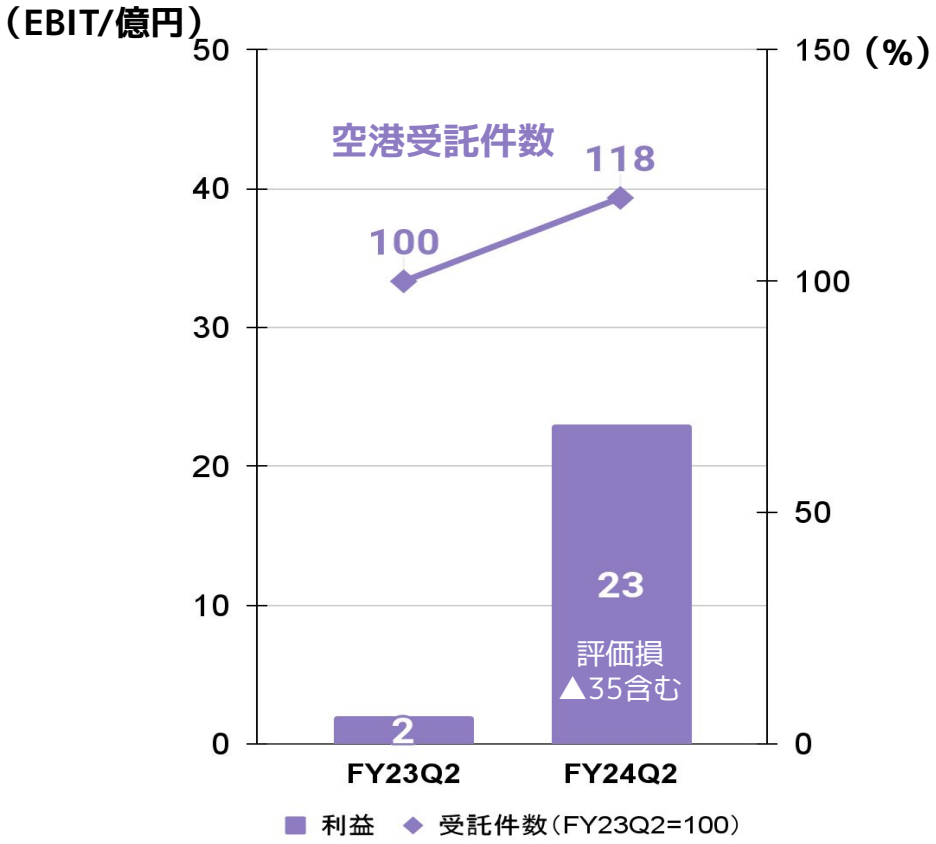
2025年3月期 第2四半期　連結業績詳細
マイル/金融・コマース、その他（旅行・受託等）

- ✔ マイル/金融・コマース事業では、マイル発行数の伸長およびJALUXの増収により、対前年で増益
- ✔ その他（旅行・受託等）では、グランドハンドリング受託が堅調、利益を伸長

マイル/金融・コマース事業EBIT およびマイル発行数の増減



その他（旅行・受託等）EBIT および空港受託件数の増減



©Japan Airlines, ALL rights reserved.

- このページでは、マイル/金融・コマース、その他の実績をお示ししております。

- マイル/金融・コマース事業においてはマイル発行数の伸長およびJALUXの増収により、前年より増益となっております。
- また、その他の事業につきましても、グランドハンドリング受託が堅調に推移し、増益となりました。
- 新規スタートアップ事業等への投資に関しては、米国の投資ファンドにおいて為替や評価の見直し等による評価損を計上しておりますが、実質的には増益となっており、構造改革の進展を感じております。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第2四半期　連結業績詳細
費用詳細

主要営業費用項目

（単位：億円）	累計				単独		
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期差	前年同期比	FY24Q2	FY23Q2 同期差	FY23Q2 同期比
燃油費	1,700	1,923	+223	+13.1%	978	+72	+8.0%
運航施設利用費	352	425	+73	+21.0%	219	+40	+22.5%
整備費	602	703	+100	+16.6%	340	+30	+9.8%
航空販売手数料	124	151	+27	+21.9%	75	+13	+21.9%
サービス費(1)	221	274	+53	+23.9%	144	+26	+22.8%
他変動費(2)	1,041	1,172	+131	+12.6%	628	+76	+13.8%
機材費	615	606	▲8	▲1.4%	307	+4	+1.4%
人件費	1,577	1,752	+174	+11.1%	883	+82	+10.3%
その他の費用	1,131	1,232	+100	+8.9%	603	▲1	▲0.2%
営業費用合計	7,366	8,243	+876	+11.9%	4,181	+345	+9.0%

FSC（フルサービスキャリア）ユニットプロフィット

（単位：円）	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期差	FY24Q2	前年同期差
UR（ユニットレベニュー）(3)	14.3	14.7	+0.4	15.4	+0.1
UC（ユニットコスト）(4)	12.6	13.6	+0.9	13.4	+0.3
UP（ユニットプロフィット）(5)	1.6	1.1	▲0.5	2.0	▲0.3

(1) サービス費＝機内・ラウンジ・貨物などのサービスに関わる費用 (2) 他変動費=旅行・マイル提携・コマース・受託事業原価 など
(3) ユニットレベニュー＝ 旅客収入 ÷ ASK (4) ユニットコスト＝ （営業費用－旅客収入以外の収入）÷ ASK (5) ユニットプロフィット＝(ユニットレベニュー) ー (ユニットコスト)

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

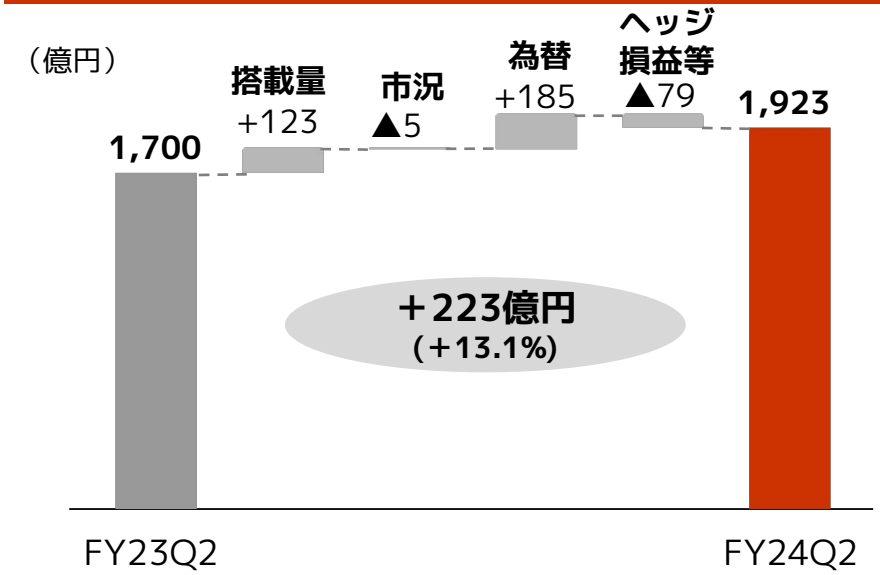
- このページでは、費用の詳細とユニットプロフィットについてご説明します。

- 円安の進行といった市況影響に加え、運航規模や旅客数に連動する費用や人件費をはじめとする各種費用が増加した結果、営業費用合計は前年より876億円増加し、8,243億円となりました。
- ユニットプロフィットにつきましては、ユニットレベニュー、ユニットコストがともに上昇し、1.1となりました。ユニットレベニューの向上とともに、コストコントロールを通じたユニットコストの低減に努めてまいります。

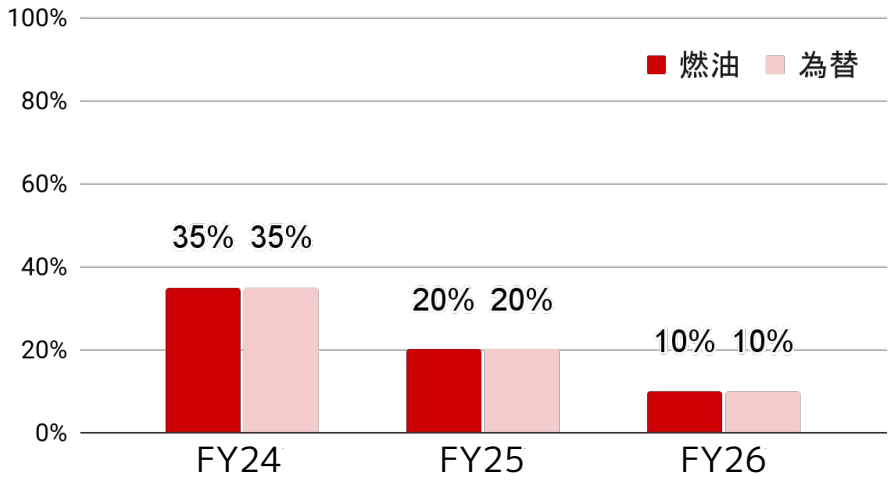
©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第2四半期　連結業績詳細
燃油費

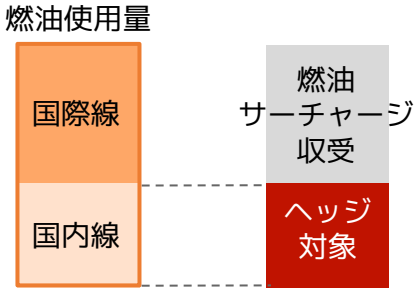
燃油費増減の推移



燃油費に対する年度別ヘッジ概況
（2024年9月末時点）

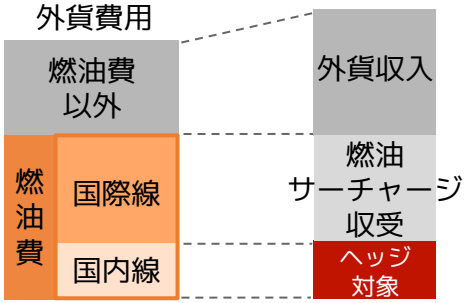


燃油ヘッジ



- 国内線使用量を対象にヘッジを実施、燃油市況変動に対応
- 国際線使用量は燃油サーチャージ収受にて対応

為替ヘッジ



- 国内線使用量の燃油費を対象にヘッジ実施、 燃油費における為替市況変動に対応
- 足許では海外発需要の高まりにより、外貨収入が燃油費を除く外貨費用を上回る

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

- このページでは、燃油費及びヘッジについてご説明します。

- 第2四半期の燃油費は前年から223億円増加の1,923億円でした。
- 右上のグラフは現在のヘッジの進捗状況をお示ししております。また、下段にはご参考までに当社の燃油及び為替のヘッジ量の概念図をお示ししております。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2025年3月期 第2四半期　連結業績詳細
財務状況・キャッシュフロー状況

BS ✔ 格付評価上の自己資本比率39.5%、ネットD/Eレシオ0倍と健全な水準を維持

CF ✔ 航空機投資が拡大する中でフリーキャッシュフローは黒字を維持しつつ、将来の成長投資に向けて、計画的に資金調達を実施

（億円）

連結財政状態計算書	FY23期末	FY24Q2末	前期末差
総資産	26,492	27,607	+1,115
現金及び現金同等物	7,138	7,506	+367
有利子負債	8,872	9,319	+446
1年内返済	1,069	1,123	+53
自己資本(1)	9,099	9,163	+63
自己資本比率 (%) (2)(5)	34.3% (41.0%)	33.2% (39.5%)	▲1.2pt (▲1.4pt)
D/Eレシオ (倍) (3)	1.0x	1.0x	+0.0x
ネットD/Eレシオ (倍) (4)(5)	0.2x (▲0.0x)	0.2x (0.0x)	+0.0x (+0.0x)

連結キャッシュフロー計算書	FY23Q2	FY24Q2	前年同期差
営業キャッシュフロー	2,134	1,839	▲294
減価償却費	734	768	+34
投資キャッシュフロー	▲824	▲1,543	▲719
投資・出資額	▲853	▲1,665	▲811
フリーキャッシュフロー (6)	1,309	296	▲1,013
財務キャッシュフロー	▲344	103	+447
キャッシュフロー合計 (7)	965	399	▲565
EBITDA (8)	1,646	1,625	▲21

(1) 自己資本=親会社の所有者に帰属する持分
(2) 自己資本比率=親会社所有者帰属持分比率
(3) D/Eレシオ=有利子負債/自己資本
(4) ネットD/Eレシオ＝(有利子負債ー現金および現金同等物）/自己資本
(5) ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを加味した格付評価上の数値
(6) フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー＋投資キャッシュフロー
(7) キャッシュフロー合計=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー
(8) EBITDA=EBIT+減価償却費

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

- 最後に、バランスシートとキャッシュフローについてこのページで説明いたします。

- 2024年9月末の格付評価上の自己資本比率は39.5%、同じくネットDEレシオは0倍と、引き続き健全な水準を維持しております。
- また、9月末時点での手元現預金は7,506億円となりました。

- キャッシュフローですが、営業キャッシュフローは1,839億円のキャッシュインフローとなりました。また、前年より投資が拡大している中、フリーキャッシュフローも296億円の黒字となっております。

- 次ページ以降は参考資料です。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

1. 2025年3月期 第2四半期 業績概要

2. 2025年3月期 第2四半期 業績詳細

3. **参考資料**

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

INTENTIONALLY LEFT BLANK

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

参考資料
国際線大路別実績（フルサービスキャリア）

旅客収入				
（単位:%）	累計		単独	
	FY24 Q2 構成比	FY23Q2比	FY24Q2 構成比	FY23Q2比
米大陸線	40%	+17.0%	39%	+11.6%
欧州線	18%	+14.3%	19%	+8.1%
アジア・オセアニア線	28%	+0.8%	27%	+0.5%
中国線	6%	▲12.1%	7%	▲13.2%
ハワイ･グアム線	8%	+4.2%	8%	▲2.2%
全路線	100%	+8.3%	100%	+4.6%

有償旅客数				
（単位:千人）	累計		単独	
	FY24Q2	FY23Q2比	FY24Q2	FY23Q2比
米大陸線	832	+4.7%	418	+4.2%
欧州線	370	+24.3%	193	+19.5%
アジア・オセアニア線	1,629	+3.8%	831	+6.4%
中国線	464	+32.3%	249	+17.8%
ハワイ･グアム線	324	+15.9%	176	+7.0%
全路線	3,621	+9.9%	1,870	+8.6%

ASK				
（単位:百万席キロ）	累計		単独	
	FY24Q2	FY23Q2比	FY24Q2	FY23Q2比
米大陸線	9,144	+2.3%	4,625	+1.9%
欧州線	4,077	+17.1%	2,051	+16.3%
アジア・オセアニア線	7,950	▲2.0%	4,006	+0.5%
中国線	1,157	+3.3%	586	+3.3%
ハワイ･グアム線	2,400	+15.1%	1,244	+11.1%
全路線	24,729	+4.2%	12,513	+4.5%

有償座席利用率				
（単位:%）	累計		単独	
	FY24Q2	FY23Q2	FY24Q2	FY23Q2
米大陸線	85.2%	82.7%	84.7%	82.4%
欧州線	83.5%	79.9%	86.7%	85.6%
アジア・オセアニア線	79.2%	77.2%	80.2%	79.2%
中国線	77.3%	61.2%	82.3%	72.2%
ハワイ･グアム線	79.1%	81.1%	83.0%	88.0%
全路線	82.0%	79.3%	83.3%	81.9%

RPK				
（単位:百万人キロ）	累計		単独	
	FY24Q2	FY23Q2比	FY24Q2	FY23Q2比
米大陸線	7,792	+5.4%	3,915	+4.7%
欧州線	3,402	+22.3%	1,778	+17.7%
アジア・オセアニア線	6,294	+0.5%	3,211	+1.7%
中国線	894	+30.5%	482	+17.6%
ハワイ･グアム線	1,899	+12.2%	1,032	+4.8%
全路線	20,282	+7.8%	10,419	+6.3%

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

参考資料
航空機一覧

			前期末 2024/3/31			当期末 2024/9/30			増減
			所有	リース	合計	所有	リース	合計	
フルサービスキャリア	大型機	Airbus A350-1000	3	0	3	6	0	6	+3
		Airbus A350-900	11	4	15	11	4	15	0
		Boeing 777-300ER	13	0	13	12	0	12	▲1
		大型機 小計	27	4	31	29	4	33	+2
	中型機	Boeing 787-9	19	3	22	19	3	22	0
		Boeing 787-8	23	0	23	23	0	23	0
		Boeing 767-300ER	16	9	25	16	9	25	0
		中型機 小計	58	12	70	58	12	70	0
	小型機	Boeing 737-800	47	9	56	47	9	56	0
		小型機 小計	47	9	56	47	9	56	0
	リージョナル機	Embraer 170 / Embraer 190	32	0	32	32	0	32	0
		De Havilland DHC-8-400CC	5	0	5	5	0	5	0
		ATR42-600 / ATR72-600	14	1	15	14	1	15	0
		リージョナル機 小計	51	1	52	51	1	52	0
	貨物機	Airbus A321-200	0	2	2	0	3	3	+1
		Boeing 767-300ER	0	2	2	0	2	2	0
		貨物機 小計	0	4	4	0	5	5	+1
		フルサービスキャリア 合計	183	30	213	185	31	216	+3
LCC		Boeing 787-8	8	0	8	8	0	8	0
		Boeing 737-800	0	6	6	0	6	6	0
		LCC合計	8	6	14	8	6	14	0
総計			191	36	227	193	37	230	+3

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

参考資料
2025年3月期　セグメント別通期連結業績予想

※FY24通期予想は2024年5月2日発表　決算説明会資料より再掲

（単位：億円）	FY24			
	Q1単独	Q2単独	上期累計	通期予想
売上収益	4,240	4,777	9,018	19,300
フルサービスキャリア	3,346	3,770	7,116	15,030
国際旅客収入	1,661	1,745	3,406	7,100
国内旅客収入	1,247	1,557	2,805	5,980
貨物郵便収入	388	409	797	1,670
その他収入	49	57	107	280
LCC	247	288	535	1,150
マイル/金融・コマース	460	525	986	2,230
その他（旅行・受託等）	547	656	1,203	2,900
連結調整額	▲361	▲462	▲824	▲2,010
営業費用	4,061	4,181	8,243	17,750
燃油費	945	978	1,923	4,350
燃油費以外	3,116	3,202	6,319	13,400
その他収支	42	39	81	150
EBIT	221	635	856	1,700
フルサービスキャリア	79	489	568	1,100
LCC	22	55	77	130
マイル/金融・コマース	88	105	194	440
その他（旅行・受託等）	38	▲14	23	120
連結調整額	▲6	▲0	▲7	▲90
純利益	139	358	498	1,000

燃油・為替の市況変動によるQ3以降の利益影響
（ヘッジ、燃油サーチャージ等込み）

（億円）	燃油市況 (USD/bbl)	ドバイ原油	60ドル	70ドル	80ドル	90ドル
		シンガポール・ケロシン	80ドル	90ドル	100ドル	110ドル
為替 (円/USD)	135円		＋120	＋100	＋70	＋40
	140円		＋110	＋80	＋60	＋20
	145円		＋90	＋70	＋40	予想前提 ±0
	150円		＋100	＋60	＋30	▲10
	155円		＋90	＋50	＋20	▲20

※本表は、燃油市況（シンガポール・ケロシン）及び為替の変動により、燃油サーチャージ収入及び燃油費が増減することで、当社の今年度10～3月の間の利益がどのように変動するかを示しております。
なお、2025年1月までの燃油サーチャージテーブルは確定しており、これを反映済みです。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

明日の空へ、日本の翼

JAPAN AIRLINES

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務・経理本部　財務部

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

免責事項

本資料には、日本航空株式会社（以下「当社」といいます）及びそのグループ会社（以下当社とあわせて「当社グループ」といいます）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点（又はそこに別途明記された時点）において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点（又はそこに別途明記された時点）のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。
従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではございません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.